

飛び降り防ぎのじぎく賞

橋上で救助 加古川北高生2人に

橋から飛び降りようとしている女性を見かけ、思いとどまらせて救助したとして、県立加古川北高校(加古川市)の女子生徒2人に県の善行表彰「のじぎく賞」が贈られた。

受賞したのは、ともに陸上部で3年生の加納彩絵さん(18)と2年生の内田菜凜さん(17)の2人。

2人は7月26日午後6時頃、加古川市内の部員宅から自転車で帰宅する途中、加古川橋中央付近で、スマートフォンを見たり川をの

ぞき込んだりしている若い女性に気づいた。一度は通り過ぎたが、振り返ると、女性が欄干に足をかけ身を乗り出そうとしていた。加納さんがとっさに約100メートル走り、女性を路上に下ろす一方、内田さんが警察に連絡した。

加納さんは、しゃがみ込んで涙を流す女性の悩みを聞きながら、背中をさするなどして寄り添った。

2人は高校で1日、校長から表彰状を手渡された。加納さんは「これからも困

っている人を見たら助けた経験があれば、これからもうい」と言い、内田さんは「助人を助けられると思う」とけるには勇気がいる。この話した。



のじぎく賞を受けた加納さん(右)と内田さん(加古川市で)